

運営推進会議 議事録

事業所名	小規模多機能 しゃくじいの庭
所在地	練馬区 上石神井 2-20-13
開催日時	令和7年8月16日（土）（令和7年度第3回） ※今回から、カレーの日との関係で開始時間を30分早め、13:30～15:00とした。
開催場所	しゃくじいの庭 多目的室
出席者内訳 （有効回答数内訳）	利用者 0名、利用者家族 1名、 民生委員 0名、地域代表 0名、知見者 1名、 練馬区職員 0名、その他 職員 2名
主な議題	第一部「自由討議」 ※統一テーマ 第二部「しゃくじいの庭」の運営状況について ※事業所別 ・参加者との質疑応答・意見交換 ・その他 事務連絡 等
活動報告	・今回は特にテーマを設けず、参加者の疑問や不安など、自由に話していただいた上で、質疑応答と意見交換を行った。 ・小規模多機能の登録状況について：17名。平均要介護度2.3。 ・職員の入退職について：変更なし。※11月から1名産休予定。 ・ヒヤリハット/事故等について：薬関連1件、落薬1件、事務処理ミス2件。 ・「街かどケアカフェ」として、偶数月第3土曜日はカレーの日（運営推進会議同日）、奇数月第3土曜日はオープンガーデンの日とする。「介護学べるサロン」は8月から4回開催予定。「認知症なんでも相談」はリモート実施も可能。さらに、上石包括の「ほっとかみしゃく」にも参加している。
出席者からの評価	・自由に話したが、周辺の事業所の方もいると、いろいろな情報も頂けて比較もできる。大変有意義だった。 ・もっと前から小規模のことを知っていれば、と思うが、当時のケアマネは教えてくれなかった。 ・困難事例の受け入れ先というイメージではなく、小規模の特徴を地域に伝えていくことが重要。学べるサロンでもそうした内容を含めていくことを検討中。
要望、意見及び助言	・看護小規模は医療が必要な間だけ利用して、その後は在宅に戻っていく仕組みなのか？ ⇒ 医療行為が多い方が対象で

	あり、重度の方が多くなるので、状態が良くなってくると周りの方と合わなくなってきた、アセスメントの上で居宅に戻るケースもある。 ・どのように最期の時間を過ごしたい（と言っていた）のか、ことあるごとに家族と話している。 ・先日も同業者の事例検討会で、目先のサービスだけでなく、そもそも将来的にどうしたいかを家族とよく話し合い共有することが最終段階では重要だと話した。 ・一方で、そういう最終段階で病院や特養側に断られることもあり、そうした時に看護小規模の意義がある。介護観をよくわかり、共感できるケアマネなどがいることが重要。
その他	区担当課より書面にて欠席の連絡あり、熱中症および感染症の対策の徹底について要請ある。
次回の開催予定	日時：令和7年10月18日 土曜日 13:30～15:00 場所：しゃくじいの庭 多目的室